



# 月信

5月は  
ロータリーの哲学を学ぼう

ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2550  
<http://www.rid2550.com/>

MAY  
2011-2012

VOL. 11

こころの中を見つめよう、  
博愛を広げるために

## GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

### ロータリアンは人々から必要とされている 第2550地区ガバナー 比企 達男



クラブ旗と比企達男ガバナー

今年度のクラブ公式訪問では、主にロータリーの哲学に焦点を置き、それで、すべて通しましたが、ロータリーの今日の大発展の基となった創始者の方々の実践哲学、および強烈な精神を学ぶにつれ、われわれのロータリー観、あるいはロータリーの魅力が、いかにして培われてきたか理解できます。そこで、今回もう一度ロータリーの歴史を振り返ってみることにいたします。

それは1905年2月23日(木曜日)、シカゴ市でのこと。鉦山技師ガスタバス・ロア、石炭商シルベスタ・シール、仕立屋ハイラム・ショーレイの面々が、ガスタバスの事務所集まるところに、一足遅れて弁護士ポール・ハリスが入ってまいりました。3人は、ポールがかねてから情熱を傾けて語る考えを聞くためそこに集まったのですが、ポールの天才の片鱗をうかがわせる構想に聴き入るうち、彼らの心の中に小さな夢が芽生えたのです。それがロータリーの今日の大発展の着火点になろうとは。彼らはその後毎週(恐らく木曜日)各家を順に回って集

まったので、会の名称は「ロータリー」が良かろうとなったのですが、この活動は1908年サンフランシスコに飛び火し、1912年に名称を「ロータリー国際連盟」と変えています。そして、1920年にはその名称の如く遂に国境を越えて15カ国に広がり、750番目のクラブとして、なんと東京RCが誕生しております。発足わずか15年後のことで、会員数も既に56,000人に達しております。

会の名称はその後再度変わり、現在の「国際ロータリー」となりますが、活動プログラムの一つに国際奉仕が加わり、国際親善と世界平和がロータリーの活動の圧倒的な要素となっていきます。そして現在、活動は200カ国以上に広がり、会員1,200,000人を超すに至っております。ポール・ハリスの播いた種は、岩の上でなく、肥沃な土壌の上に落ちたのです。

思想、宗教の世界でも類を見ないこの急速な大発展の要因は、ポール・ハリスの哲学に共感して、彼の元に集まった多くの優れた人材が続出したこと、またそれに呼応して各界の重鎮が続いたことなどがまずあげられます。

ポール・ハリスは初期のロータリーの会合で「ロータリーの哲学は決して変えてはいけない。しかしロータリーの歴史は書き替えられていくであろう」と言っております。そのロータリーの哲学に関して、ポール・ハリスの右腕と

## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
地区協議会報告	2
平成23年度米山記念奨学会修了生修了式報告	3
宇都宮RC 創立60周年記念例会を開催	3
IM報告	4,5
2011-2012 GSEプログラム、新入会員紹介	6
3月会員増強・出席報告、文庫通信	7
地区大会のお知らせ	8

## NEWS

ロータリーレート/1ドル=82円

### ・主要行事

- 5月6日~9日(日~水) 国際大会(タイ・バンコク)
- 5月8日(火) GSE派遣メンバー帰国
- 5月20日(日) 米山記念奨学会新入生オリエンテーション  
国際親善奨学金委員会
- 5月27日(日) ローターアクト地区年次大会
- 7月14日(土) 地区大会ゴルフ大会
- 7月15日(日) R I会長代理歓迎晩餐会
- 7月16日(月) 地区大会

して活躍したアーサー・フレデリック・シエルドンが1913年に行った歴史的なスピーチの原稿が残されています。要約すると黄金律「何事でも、自分にしてもらいたいことは、他の人にもそのようにしなさい」。これを別の言葉で言えば「超我の奉仕」であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」である、というものです。これは1923年の規定審議会で採択され、決議23-34となり、ロータリーはその時をもって成人に達したと言われております。利己と利他の間の矛盾は、超我を目指すくらいでちょうど両者のバランスがとれるとの考

えで、良く考えたものです。

ポール・ハリスはロータリーの活動を世界に広げると言っており、また、ロータリーの最終目的は世界の平和であるとも言っております。このヴィジョンの大きさに、歴代の米国大統領はじめ世界中の各界の重鎮たちが共感し、ロータリアンとしてその名を連ねております。

今、ロータリアンは、世界の人々から必要とされている存在であることを再認識し、必要とされている喜びを共有いたしましょう。

## 2012-13年度地区協議会報告

春の花も咲き始め清々しい陽気の中、3月25日（日）に国際ロータリー第2550地区、地区協議会が宇都宮グランドホテルにて開催され、県内50クラブの次期会長・幹事をはじめ、次期クラブの指導者総勢475名の参加をいただきました。

協議会は、鈴木ガバナー・エレクトによる点鐘に続いて、ホストクラブを務める宇都宮北ロータリー・クラブの林田会員によるリードで国歌が斉唱され、厳かな雰囲気の中でのスタートとなりました。

田中作次RI会長エレクトのテーマ「Peace Through Service（奉仕を通じて平和を）」と地区目標について、鈴木ガバナー・エレクトは……

“Object of Rotary”のもとに私たちは活動していることを常に意識しながら、

“Service through Business”という旗印を高らかに掲げ、

“Peace through Service”の心で誠実に地区目標を実行していきたい。

……というスローガンのもとに

1. 基本的なロータリーの考え方を皆で学んでいこう
2. 誠実な職業実践のもとにビジネスの交流の拡大をしっかりとやっていこう
3. 「元気なクラブ」を作っていこう
4. 広島での世界平和会議にロータリアンと新世代の積極的な参加・地区内での平和フォーラムの実施・2月23日（世界理解と平和の日）にクラブorグループでの平和活動を実施

という4つの地区目標を掲げられました。

午後には、会長・幹事・ガバナー補佐部門、職業奉仕部門、クラブ奉仕・広報・IT部門、新世代奉仕部門、地域社会奉仕部門、ロータリー米山記念奨学会部門の6つの分科会会場に分かれ、パストガバナーや正副リーダーのもと、DVDやパワーポイント等を使用しながら次年度の役割と責務について協議されました。

閉会の直前に、地区旗が比企ガバナーより鈴木ガバナー・エレクトに引き継がれ、鈴木年度がいよいよ始まるという実感がいたしました。次年度が始まってすぐの7月には地区大会が予定されております。次年度の

地区役員、クラブ役員、また、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。



地区協議会開催の様子



地区旗の引き継ぎ

## 平成23年度

# 米山記念奨学会修了生修了式報告

米山学友委員長 恩田 光憲(宇都宮西RC)

平成23年度米山記念奨学会修了式が、平成24年2月19日ホテル・ニューイタヤで開催されました。修了生は18名で、そのうち2年継続者が4名です。比企ガバナーから修了証と感謝状が修了生とカウンセラーの一人ひとりに手渡されました。ガバナーからは心温まるお祝いと激励のお言葉もいただきました。

奨学生は帰国する方、日本の企業などに就職する方とさまざまですが、米山の奨学生であった喜びを感じているように見受けられました。最後に全員がスピーチをしましたが、クラブ例会などでロータリーの会員の皆様と直に接することによって、ロータリー米山奨学金制度が、単に奨学金を授与するものではないこと、世話クラブ・カウンセラー制度によるロータリアンと奨学生の絆のもとで、ロータリーの米山奨学金が目的としているものが何であるかをしっかりとつかんだ様子が見られました。彼らの今後の活躍がきっと日本との架け橋になるであろうと確信できるひとときでした。

このような場面に接すると、米山の事業の意義を深く感じます。彼らもまた奉仕の精神を礎にさらなる飛躍を考えていることをみると、われわれロータリアンも彼らからの刺激を受けます。写真でご覧になっていただけるように奨学生の顔は皆輝いています。これからも米山へのご協力をよろしくお願いいたします。



修了生、劉大鵬君のスピーチ



ガバナーからの修了証、感謝状授与



修了生とカウンセラー、参加の皆様

## 宇都宮ロータリー・クラブ 創立60周年記念例会を開催

宇都宮ロータリー・クラブ会長 青木 直樹

2月28日(火)に宇都宮ロータリー・クラブ創立60周年記念例会を佐藤栄一宇都宮市長、比企達夫ガバナーをはじめ、第3グループ内のお客様にご参加をいただき執り行いました。

宇都宮ロータリー・クラブは東京ロータリー・クラブ、神戸ロータリー・クラブのスポンサーにより昭和27年1月18日に国際ロータリーより認証状をいただきました。以来、先輩方が一年一々こつこつと歴史を積み重ねて、本年60周年を迎える運びとなった訳であります。今回の60周年は、東日本大震災の復興支援をコンセプトとして、記念事業は気仙沼南ロータリー・クラブのご協力で気仙沼の漁協にトラック2台を寄贈いたしました。トラックのボディには、宇都宮市の西小学校の子どもたちが手形で描いた魚の鱗をペイントいたしました。

60周年は大きな転機ではありませんが、ロータリー的には一つの通過点です。今後も、本年度の宇都宮ロータリー・クラブのテーマであります「凄いぞロータリー」を具現化して実践してまいる所存でありますので、どうぞ今後も皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



## 第9グループIM 報告

2012年2月4日開催

ガバナー補佐 芝口 久雄 (佐野東RC)

2月4日(土) 大津栄において、来賓に岡部正英佐野市長、市村隆岩舟町長をお迎えして、第9グループのIMを開催いたしました。第1部本会議では、各クラブ会長によるクラブ活動報告が熱く語られました。また亀田好二前佐野商工会議所会頭による卓話「平成24年度の世情を占う」には、参加者全員が興味深く聴き入りました。

第2部懇親会では、クラブを超えての親睦が各テーブルごとに盛り上がる中、ジャズバンドの歌と演奏が心地よいBGMとなって、本当に気持ちの良いひと時を過ごせました。第9グループ内の親交も大いに深まったと感じています。

本IMの準備に心血を注いで下さった、小林会長、村野幹事をはじめとする佐野東クラブのメンバーに心からの御礼を申し上げるとともに、第9グループのますますの発展をご祈念申し上げて、IMのご報告といたします。



## 第8グループIM 報告

2012年2月18日開催

ガバナー補佐 中谷 研一 (足利東RC)

本年2月18日4RC会員100名が参加してIMが開催された。IMのテーマは“絆”。今年度実施された東日本大震災復興支援(特に石巻地区に対して)活動について、4RC会員が一堂に会し、真摯に向かい合い討論することで、明日へのさらなる活動の礎をともに考え、足利・石巻4RC会員との絆をより強固に築くことを最大の目的とした。

IMは、第1部本会議、第2部RIコーディネーター桑原茂様、第2520地区第5分区ガバナー補佐山口郁夫様の特別講演、第3部懇親会が行われた。さらに第2520地区ロータリアンの支援を目的に、東北物産展を開催した。当日、石巻市白謙蒲鉾(石巻西RC会員)、株式会社キクニ・同佐浦(塩竈RC会員)、西條水産株式会社(石巻RC)の協力を得て、笹蒲鉾配布、清酒浦霞即売会、お楽しみ鮮魚セットの予約販売などを行った。

今回のIMでは、3.11の復興事業が長い時間をかけ再構築されるべき事象であり、記憶に留めておくべき問題であることから、われわれ4RC会員はさらに活動を継続し、次世代へ活動を継承することをさらなる目標とした。



## 第5グループIM 報告

2012年2月19日開催

ガバナー補佐 石塚 勝彦(小山RC)

第5グループは今年度は小山RCがホストで開催いたしました。第5グループの会長・幹事に今年のIMについてお計りしたところ、東日本大震災の支援以外には無いとの結論に至り、この事業に取り組みました。

支援先は小山市が宮城県大崎市と東松島市に行政支援中と知り、東松島市に支援することを決めました。しかし東松島市にはRCが無く、今回の支援金の使途の関係上、隣接の石巻東RCと石巻南RCの皆様のご協力により、第5グループからの義援金100万円を東松島市にお届けすることができました。

式典には第2520地区第5分区のガバナー補佐山口郁夫様ほか3名の方々にご出席いただき、ごあいさつの中に改めて被害の大きさと凄まじさを知ることができました。

第2部の講演会では小山市長より、市内の被災状況および行政支援中の宮城県大崎市や東松島市について講演をいただきました。

なお、現在行政支援中の現状について小山市健康増進課の福原様より講演をいただき、心の温もりが感じられる支援が大切で、被災者と心を通わせる支援の難しさをお話しいただきました。

続いて懇親会に入り、第5グループが一つになり今後の奉仕活動等について語り合い、有意義なひとときを過ごし、最後は全員で手に手をつないでの合唱で閉会となりました。



## 第3グループIM 報告

2012年3月3日開催

第3グループAガバナー補佐 恩田 光憲(宇都宮西RC)

第3グループBガバナー補佐 中村 勝(宇都宮陽南RC)

第3グループA・B合同のIMが3月3日ヴェルヴィ宇都宮で開催されました。宇都宮陽北RCのホストのもとに、グループ内メンバー全員が登録し、200名弱が出席されました。

テーマは特に設けず、全9クラブからクラブが抱えているいろいろな問題点や、クラブの特徴的な活動、現況報告などを発表していただき①情報交換をし、ガバナー、パストガバナーの方々からや参加のロータリアンの皆様からのご意見、質問をお伺いしディスカッションし②知識を得、最後に懇親会で先の情報などをもとに大いに語り合っていたいただき③親睦を深めるといふ、IMの本来の3つの目的を達成することができました。ロータリーのことについて考え勉強になる会があまりない中、出席者の参加型の研修プログラムになり、有意義な会であったと思います。

自前で運営することにより講師謝礼代を節約し、その分震災の支援金に回すということにもいたしました。グループ内クラブの大震災の支援活動の報告をお聞きすることもでき、今後の活動の参考になりました。



# 2011-2012 GSEプログラム GSE委員長 石島 洋(宇都宮ロータリー・クラブ)

国際ロータリーのロータリー財団研究グループ交換(GSE)プログラムは、事業と専門職務経験の浅い25歳から40歳の男女に、文化と職業交流の機会を提供するものです。異なる国の地区との間で派遣と受け入れとお互いに訪問し合うため、若い参加者からなるチームに旅費として補助金を支給するプログラムです。チームメンバーは4週間～6週間にわたり受け入れ国の制度や生活様式を観察し、他国における自分と同じ職業の実践の様子を見学することによって、個人の職業研修に役立てるといえるものです。今回は、RI第7430地区アメリカ・ペンシルバニア州とのGSEプログラムを行います。概要は、以下の通りです。

## \*派遣 2012.4.17(火)～5.8(火) 3週間

- ・チームリーダー 井川 克彦 (佐野RC) ノア外語学院 代表 佐野市議会議員
- ・チームメンバー 青木 友里 下野新聞 (宇都宮RC推薦)
- 富永 智絵 NTT東日本 (宇都宮RC推薦)
- 青木 和教 栃木県庁 (宇都宮RC推薦)
- 箱島 弘幸 宇都宮市役所 (宇都宮RC推薦)



アメリカ・ペンシルバニア州に派遣されるGSE5名  
(下野新聞 H24.4.16付より)

## \*受け入れ 2012.6.10(日)～7.1(日) 3週間

- 6.12～16 第6グループ
- 6.16～20 第3グループ A・B
- 6.20～24 第4グループ
- 6.24～28 第8グループ

今回は当初計画では受け入れは昨年10月の地区大会に来日予定でしたが、震災後の原発事故の影響で延期になっていました。ぎりぎりまで実施できるか心配でしたが、今回特別に3週間に短縮し比企年度の最後に受け入れることとなりました。担当グループのガバナー補佐をはじめロータリアンの皆様には、いろいろとご苦勞をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回の派遣先のペンシルバニア州にはスリーマイル原子力発電所があるため、「原発事故後の放射線対策」というミッション設定をしました。そこで、栃木県庁、宇都宮市役所の放射線対策の担当者および、情報インフラから下野新聞とNTTから社員を派遣していただきました。放射線対策と危機管理について、ペンシルバニア州の実情を視察する予定です。そのため、従来のクラブ推薦の募集は行わずに、GSE委員会から各組織に直接派遣要請をしました。これは、R財団の「未来の夢計画」のVTT(Vocational Training Team)を見据えたチーム編成になります。また、派遣チームの活動内容については、下野新聞にて一部連載される予定です。GSEの活動やロータリーの広報宣伝に大きく貢献できると期待しています。

なお、次年度鈴木年度には、フランス・リヨン地区とのGSEプログラムが予定されています。興味のある方は、GSE委員会までお問い合わせください。派遣は、2013年5月の予定です。

## 第2550地区 新入会員紹介



とがわ やすひろ  
**十川 康弘**

(鹿沼RC)

上都賀総合病院  
病院長  
H24.2.9入会

よろしくお願ひします。



うちの よしただ  
**内野 義忠**

(鹿沼RC)

ソニー生命保険(株)  
課長代理  
H24.2.9入会

よろしくお願ひします。



おおくぼ まさあき  
**大久保 昌章**

(鹿沼RC)

おおくほみみ  
はなのびクリニック  
理事長  
H24.2.23入会

よろしくお願ひします。



いわま ちさと  
**岩間 千里**

(足利RC)

JTB関東法人  
営業両毛支店  
支店長  
H24.2.24入会

〓人。を大事にすること。  
組織力はチームの力。



ながたけ いちろう  
**長竹 一郎**

(足利西RC)

さわやか保険プラン(株)  
代表取締役  
H24.3.1入会

ほんの少しでもお役に立  
つことができればと思ひ  
ます。よろしくお願ひ  
します。



つかはら たつや  
**塚原 達也**

(足利西RC)

塚原(株)  
代表取締役  
H24.3.1入会

経験不足ですが、  
よろしくお願ひいたし  
ます。



からき なるひと  
**唐木 成仁**

(宇都宮北RC)

(株)ケアネットサービス  
代表取締役  
H24.3.8入会

皆様のご指導を受け、  
1つ1つ勉強し実践し  
ていきたいと思ひ  
ます。





2012-2013年度  
ガバナー 鈴木 宏  
(宇都宮北ロータリークラブ)



地区大会実行委員長  
亀和田 辰男  
(宇都宮北ロータリークラブ)

## International Rotary District 2550 尊敬しますロータリアンの皆様!

2012-13年度は、年度が始まって直ぐの地区大会開催となります。地区大会は、各クラブで活動しているロータリアンの皆様一堂に集い、会員間の友愛と絆を深める場です。また、RI会長田中作次様のRIテーマ「Peace through Service」と方針を理解し、共有することによって、この一年間のロータリー活動の目標を一人ひとりが確認する機会でもあります。

今大会が「元気なクラブ」への活性化の基盤となり、地区が益々発展することを祈念致しております。7月の暑い中ではありますが「住めば、愉快だ宇都宮」へ是非足を運んでください。宇都宮北ロータリー・クラブ会員一同、誠意をもっておもてなしをさせていただきます。

### 7/14 Sat. 地区大会記念ゴルフ大会 大会会場:宇都宮カンツリークラブ

宇都宮市上戸祭町3100番地  
TEL 028-624-7221  
HP <http://www.utsunomiya-cc.co.jp/>

### 7/15 Sun. 地区指導者育成セミナー 会場:宇都宮グランドホテル

- 13:00 登録開始
- 13:30 点鐘  
ガバナー挨拶  
RI会長代理挨拶
- 13:50 講演:「元気なクラブになるために」  
講師:桑原茂氏  
講師:RI会長代理
- 15:50 質疑応答
- 16:30 点鐘

### RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 会場:宇都宮グランドホテル

- 17:00 RI会長代理ご夫妻入場  
RI会長代理挨拶  
乾杯・祝宴  
演奏会:i-nos
- 20:00 閉会

### 7/16 Mon. 本会議 会場:宇都宮グランドホテル

- 9:00 登録開始
- 9:30 点鐘  
国歌・ロータリーソング斉唱  
物故者黙祷  
開会の言葉  
歓迎の言葉  
RI会長代理・来賓紹介  
地区外ロータリアン紹介
- 10:20 ガバナー挨拶並びに地区現況報告  
RI会長代理挨拶並びにRI現況報告  
各種委員会報告並びに上程  
大会決議案採択  
来賓祝辞  
記念行事目録贈呈  
各種表彰
- 11:45 昼食・休憩
- 12:45 一年交換学生帰国報告
- 13:25 演奏会:i-nos
- 14:00 記念講演:奥山清行氏  
「超・モノづくりへの挑戦  
~これからの100年をデザインする」
- 15:30 招待学生紹介・GSE紹介
- 16:30 クラブ紹介・ガバナー補佐紹介
- 16:50 ガバナー・エレクト紹介  
次期開催ホストクラブ代表挨拶  
RI会長代理所感
- 17:20 点鐘
- 17:30 懇親会